

中施策評価書

作成日 令和04年 12月 5日

中施策事業名	農村環境改善センター管理運営事業	部課名	経済建設部・農業政策課
		作成者	加藤 直美
①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている		
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う		
③中施策	持続可能な財政計画を立て、評価・改善する		
④中施策事業の対象	施設利用者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	利用者にとって安全で利用しやすい施設にするため、農村環境改善センターを適切に運営・維持管理する		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	農村環境改善センター		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
施設利用率	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	10	10.1	10.2	10.3	10.4	10.5
	実績値	10.1	9.2				
単位	%						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				7,702千円	15,548千円	
	a 事業費合計			7,702千円	15,548千円	6,506千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				695千円
③ コスト (①－②)				7,007千円	14,695千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				102 円	214 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 施設利用率は、新型コロナウイルス感染症が発生する以前の令和元年度頃は約16%程度であった。しかし、感染症への拡大防止に伴う措置等により、令和2年度、3年度は利用率が約10%程度となっている。 貸館の再開以後、適切な施設運営のために管理委託先の会員との打合せ会を開催した。施設維持に関しては、公共施設管理課と連携し、公共施設として必要な点検、修繕、工事（アスベスト除去工事等）を実施することができた。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度に施設利用の人数制限や利用基準を設け、施設運営を行っている。 利用基準は必要に応じて見直しを行っているが、直近の見直しは令和2年12月であるため、現在の「新しい生活様式」に合わせ、利用基準の見直しを行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	新型コロナウイルス感染症への対応状況等を十分に把握しながら、利用者等の意見を聞き取り、安全で利用しやすい運用への見直しを継続的に行う。 また、施設の現状を把握し、必要な修繕等を行いながら適切に施設を維持する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 11月 7日

中施策事業名	農業振興事業	部課名	経済建設部・農業政策課
		作成者	加藤 直美
①めざすまちの姿	32 市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている		
②大施策	地域の経済活動が盛んなまちをつくる		
③中施策	産業の活性化を図る		
④中施策事業の対象	農業者及び新規就農者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	農業者への支援や農地の集積により安定した農業経営ができています		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 経営所得安定対策 ・ 新規野菜ブランド化事業 ・ 人・農地プラン ・ 農業者、農業団体の育成・指導 ・ 新規就農相談 ・ 農政講座 ・ 市民菜園 ・ 農業支援補助金 ・ 農業振興地域整備計画 ・ 愛知用水利水者連絡協議会 ・ 沓掛管理組合 ・ 大脇地区土地改良区 ・ 有害鳥獣 ・ 畜産 ・ 林務 ・ 農地適正管理指導 ・ 農地流動化		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
新規就農者数（延べ）	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	11	13	15	17	19	21
	実績値	13	16				
単位	人(組織)						
新規就農者耕作面積	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	650	674	700	725	750	775
	実績値	650	674				
単位	a						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				14, 471千円	10, 202千円	
	a 事業費合計			14, 471千円	10, 202千円	11, 729千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				6, 878千円	4, 158千円	4, 437千円
③ コスト (①－②)				7, 593千円	6, 044千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				110 円	88 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 新規就農者数は異業種からの転職者の増加により目標を達成しているものの、認定農業者数については、全国的な問題でもある高齢化に伴う離農者の増加により現状維持も厳しい状況である。 カリフローレを始めとした「新規野菜」については、市場出荷が定着してきたものの、価格と需要の兼ね合いから、取扱量を調整せざるを得ない状況であった。しかし、JAあいち尾東による販路拡大や売り場面積を広げることで、農業者の所得向上を図った。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	開発等に伴い、水田における営農に支障のない様に関係機関との調整を行う。 農家の後継者不足に伴い、地域組織の在り方についてJAあいち尾東と協議する。 また、豊明市産の農作物の更なる地産地消の方策及びPR方法について、JAあいち尾東と検討を行う。 関係機関と連携し、農福連携の継続や新規就農者の意見交換会及び営農拡大支援を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	法改正に伴い策定する地域計画及び目標地図により、指定した区域について、将来の「農業の在り方」「農地の担い手」を示す。 また、継続して、農業者やJAあいち尾東と協力しながら、様々な方法で「豊明市産」の農産物をPRし、新規野菜等を生産する農業者を増やすことで農地の有効利用を図る。併せて、農業振興に係る各種補助金等を現状を考慮しながら見直していく。 なお、農業振興地域整備計画は、市総合計画の見直しに合わせて、全体の見直しを行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 11月 7日

中施策事業名	農業委員会運営事務事業	部課名	経済建設部・農業政策課
		作成者	加藤 直美
①めざすまちの姿	32 市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている		
②大施策	地域の経済活動が盛んなまちをつくる		
③中施策	産業の活性化を図る		
④中施策事業の対象	農業者、農地所有者及び市内の農地		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	農地の適切な管理がされている。 農地所有者の意向を把握し、農地の有効利用を図る。		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 農業委員会運営（総会） ・ 農地法許可 ・ 農地法届出等 ・ 農地利用最適化推進活動 ・ 農地適正管理指導（耕作放棄地対策） ・ 農地流動化（利用権設定等） ・ 農地改良 届 ・ 農家台帳の管理 ・ 農業者年金 ・ 農業委員会庶務		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
遊休農地面積	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	2.6	2.5	2.4	2.3	2.2	2.1
	実績値	2.6	2.5				
単位	h a						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				7,272千円	7,571千円	
	a 事業費合計			7,272千円	7,571千円	11,107千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				1,588千円
③ コスト (①－②)				5,684千円	5,972千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				83 円	87 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 農業委員会総会を毎月1回開催。農業委員及び農地利用最適化推進委員と現地調査を実施のうえ、農地法等の審議を適切に行った。 農地改良においても指導要綱に基づき審査及び必要に応じ現地指導を実施した。 評価指標である遊休農地面積は、農地利用最適化推進委員を中心とした農地パトロールにより減少したが、今後高齢化に伴い離農者が増える中、遊休農地が増えないよう継続してパトロールを実施していく。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	農地パトロールや農地所有者への農地利用意向調査の結果を踏まえ、農地利用最適化推進委員を中心に農地所有者への訪問、相談活動を行い、農地中間管理機構への農地貸付けを促進する。 遊休農地対策や農地集積等の「農地利用の最適化」を効率的に推進するための国策によるタブレット導入に向け、国の農業委員会サポートシステム等の情報更新を実施する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	農地パトロールや農地利用意向調査を実施するにあたり、タブレットを活用した調査方法を農地利用最適化推進委員と協議し進めていく。 また、国の農業委員会サポートシステム等を、より効率的かつ効果的に活用するための支援アプリケーションを整備し、情報の維持管理を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等